

# 新年のごあいさつ



**新**年明けましておめでとございます。村民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えるのことに、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では秋篠宮家の長女・眞子様のご婚約の話題や、最年少棋士でプロ入りした藤井聡太四段が、デビューから負けなしの29連勝を飾り、歴代最多連勝記録を打ち立てる快挙。そして2月9日に開幕する平昌オリンピックでの活躍が期待できる、フィギュアスケートやスキージャンプ、特にスピードスケート女子の小平奈緒さんが世界新記録のタイムを樹立するなどの明るい話題がありました。

そして政治では、森友・加計学園問題が報じられる中、10月に小池百合子東京都知事が立ち上げた「希望の党」との対決となった衆議院選挙において、自民党率いる与党が圧勝するという結果に終わりました。

また気象に目を向けますと、6月の梅雨時期は雨が少なく、7月・8月は長雨と日照不足が続き、9月・10月には台風が東日本を通過するなど、異常気象と言われるほどの現象が続いております。

昭和村においても、昨年はこの異常気象であるゲリラ豪雨に対応するために、村内に新たに3ヶ所、雨量計測器を設置し、群馬県の雨量計と連携を図り、10分毎の瞬間雨量を皆様のスマートフォンで確認することができるよう「雨量観測システム」を導入いたしました。

また、3月には昭和村の公共施設を計画的に運営すべく、公共施設総合管理計画を策定し、27年度に行った大河原小学校の大規模改修工事や、本年度行った昭和中学校体育館の屋根補修工事のように、今後も計画的に施設を更新していく予定であります。そしてその中で必要となる資金については、特定目的基金へ資金を移し、いかなる財政状況の中でも計画的に遂行できる準備を整えつつあります。

その他にも、29年度の重点事業としては、昭和村の

将来を支える子どもたちを育むために、不妊治療や産後ケア・子育て支援の助成事業を行い、教育では新たに「土曜学習・昭和未来学習」をスタートし、また、読書環境の整備を促進して参りました。

また健康福祉の面では、保健センターの環境改善や骨髄移植ドナー支援、インフルエンザ予防接種、健康診断や各種検査受診による疾病対策予防、敬老祝金事業や家族介護慰労事業など、皆様の健康・長寿のお手伝いをさせていただいております。

さらに産業・観光面では、「道の駅めぐりーむ昭和」を法人化し、昭和村の玄関口である昭和インター周辺の活性化を進めると共に、「河岸段丘ハーフマラソン」や「昭和の秋まつり」、「ウィンターフェスティバル」などのイベントを積極的に支援し、広く昭和村を知っていただき、訪れていただく機会を作って参りました。

そして、28年度に開始をした「ふるさと納税特産品返礼事業」では、1,700を超える自治体の中から、昭和村を選んでいただいた方が、日本全国で8,000件を超えました。今年度も様々な地域の方からご寄附をいただき、各地で昭和村の野菜や果物などの特産品を味わっていただいております。

さて、今年、昭和村が誕生してから60年の節目の年を迎えます。諸先輩方が創り上げてきたこの素晴らしい村を、さらにより良い環境を整えて、未来の子どもたちに引き継ぐために、住民の皆様と共に、第5次総合計画に沿った「首都圏近郊に位置し優れた自然を生かした美しいむら」・「農業立村・野菜王国の農商工連携のむら」・「子どもとお年寄りにやさしいむら」・「住民が元気な住みよいむら」を目指し、誠心誠意努力を積み重ねて参りたいと存じますので、本村の村づくりに対し、なお一層のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、本年が素晴らしい年でありますよう、村民皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長 堤 盛吉